

## V-2

### Artek とイケアー「北欧デザイン」とは何なのか(2)

前回の資料V-1で、Alvar Aalto がデザインした Artek 社の腰かけと、家具販売大手で日本でも人気のあるイケアの腰かけについて見てきました。その最後で、デザインというものについては、その形だけではなく、材料、製造方法、そしてほかの多くの事柄にも注意を向けなければならないという指摘を確認しました。そして、その指摘を実践した新聞記事がありますので、今回はその記事を中心にみていくことにします。その記事とは次のものです（記者は Sanna Huolman さん、そして写真を撮ったのが Juha Salminen さんです）。

Huolman, Sanna (Juha Salminen, kuvat). ”Jakkarat halki”. *Helsingin sanomat*. (10.1.2023).  
< <https://www.hs.fi/koti/art-2000008851874.html>>.

記事のタイトルである”Jakkarat halki”は「腰かけを真っ二つに」といった意味です。そして副題については【2】で読むことにします。デザインについては、形だけではなく材料、製造方法、そしてほかの多くの事柄を探るにはうってつけの記事だと思います。なお、【7】に出てくる baasaamalla という語の意味がどうしてもわかりません。どうぞお許しを。

#### 【1】Artek とイケアの腰かけの価格差は 200 ユーロ

HS-vertailun jakkarat muistuttavat ulkoisesti toisiaan mutta niillä on hintaeroa 200 euroa.

#### ■ 語句・文法

vertailu「比較」／muistuttaa「思い出させる、似ている」／ulkoisesti「外面的に」[副]< ulkoinen < ulko-／toisiaan「おたがいを」[複分]+ 複 3 所接 < toinen／niillä「それらに」[接]< ne

#### ● フィンランド語理解のための訳例

『Helsinki 新聞』の比較の|腰かけは|思い出させる|外面的に|おたがいを|しかし|それらには|ある|値段の違いが|200 ユーロ。

#### ◎ 意訳

<今回> 『Helsinki 新聞』が比較しようとする<二つの>腰かけは、見た目はおたがいに似ているが、それらには 200 ユーロの価格差がある。

#### 【2】腰かけを真っ二つにして価格差の秘密を探る

HS sahautti kahtia Artekin klassikkojakkaran ja Ikean suosikkijakkaran. Kalustesuunnittelun professori kertoo, miksi kahdella samanoloisella jakkaralla voi olla jopa 200 euron hintaero.

## ■ 語句・文法

HS = Helsingin Sanomat 「Helsinki 新聞」 / sahauttaa 「のこぎりで切らせる、のこぎりで切ってもらう」  
< sahata < saha / kahtia 「二つに」 < kaksi / klassikko-jakkara 「古典となっている腰かけ、定番の腰かけ」 (具体的には Alvar Aalto がデザインした ”Jakkara 60” のことです) / suosikki-jakkara 「人気の腰かけ」 (ここでの比較の対象に選ばれたのはイケアの ”Kyrre” という名前の腰かけて、日本語では「シルレ」と呼ばれているようです) / kaluste-suunnittelu 「家具デザイン」 / professori 「教授」 (具体的には Aalto 大学の講師であり、デザインの教授代行である Martin Relander さんのことです) / saman-oloisella 「同じような見かけをした、同じように感じられるような」 (oloinen < olo < olla) / jopa 「～さえ、～までも」 / hinta-ero 「価格の違い、値段の差」

## ● フィンランド語理解のための訳例

『Helsinki 新聞』は | のこぎりで切ってもらった | 二つに | Artek の | 古典となった腰かけを | そして | イケアの | 人気の腰かけを。家具デザインの | 教授は | 語る、 | なぜ | 二つの | 同じように見える | 腰かけには | ありえる | ある | さえも | 200 ユーロの | 値段の違いが。

## ◎ 意訳

『Helsinki 新聞』はすでに古典となっている Artek の腰かけと人気のイケアの腰かけを真っ二つに切ってもらった。同じように見える二つの腰かけになぜ 200 ユーロもの価格差があるのか、家具デザインの教授に語ってもらうことにする。

## 【3】見た目ではわからないことを消費者も理解すべき

”Maallikon silmään vertailun jakkarat saattavat näyttää samalta, mutta niissä on suuria teknisiä eroja”, Relander sanoo. Nämä erot kuluttajan on hänestä hyvä ymmärtää. Katsotaan jakkaroita lähempää.

Molemmissa jakkaroissa on kolme jalkaa. Miksi juuri kolme?

Jakkaroiden juuret ulottuvat talonpoikaiskoteihin, Relander kertoo.

## ■ 語句・文法

maallikko 「素人」 < maallinen < maa / näyttää samalta 「同じように見える」 (näyttää 「～のように見える」のような感覚にかかわる動詞は奪格、あるいは向格の語を要求します) / teknisiä 「技術的な」 [複分] < tekninen / nämä erot 「これらの違いを」 [複主対] < tämä ero (この nämä erot は後から出てくる ymmärtää の目的語) / hänestä 「彼の意見では、彼にしてみると」 [出] < hän / kuluttajan on hyvä ymmärtää 「消費者にとっては理解するのがよい」 (on hyvä ymmärtää 「理解することはよい」といったタイプの文では、A 不定詞の主語に相当する語を属格 kuluttajan 「消費者にとって」で表現することがあります。このような属格のことを datiiivigenetiivi と呼ぶことができますが、「与格属格」と訳すことができます。) / katsotaan 「見てみよう」 受現 < katsoa / lähempää 「もっと近くから」 ⇒ lähempänä, lähemmäksi, lähemmäs ⇒ lähellä, läheltä, lähelle / molemmissa jakkaroissa 「どちらの腰かけにも、両方の腰かけに」 [複内] < molempi jakkara (molempi はふつつ複数形で使います)

／juuret「根は、ルーツは、起源は」[複主]< juuri／ulottua「届く、さかのぼる」／talon-pokais-koteihin「農民の家へ」(talon-poikais-< talon-poikainen < talon-poika, koteihin [複入]< koti)

### ●フィンランド語理解のための訳例

「素人の|目へ|比較の|腰かけたちは|かもしれない|見える|同じように、|しかし|それらには|ある|大きな|技術的な|違いが」、|Relander は|いう。これらの|違いを|消費者にとっては|彼の意見では|よい|理解することが。見てみよう|腰かけたちを|もっと近くから。

両方の|腰かけの中に|ある|3本の|脚が。ませ|まさに|3本か。

腰かけたちの|根は|届く|農民の家へ、|Relander は|語る。

### ◎意訳

「<今回>比較する<Artek とイケアの>腰かけは、素人の目には同じように見えるかもしれないが、それらの間には大きな技術的な違いがある」と Relander はいう。彼にしてみれば、これらの違いを消費者は知っておくべきである。<それでは>もっと近くから腰かけを眺めてみよう。

どちらの腰かけにも脚が三本ある。なぜ、まさに三本なのだろうか。

腰かけの起源は<かつての>農民たちの家にまでさかのぼる、と Relander は語る。

### ★補足

『フィンランド語の世界を読む』の 92 ページに”Jakkara 60”についての文章とすてきな絵がありますので参考にしてください。

### 【4】三本脚の腰かけは農民たちの「機能主義」のたまもの。

Keskiajalta 1900-luvulle tuvan lattiat olivat epätasaisia. Talonpojat tuskin käyttivät sanaa funktionaalinen, mutta sellaiseksi Relander nyt nimittää kolmijalkaista jakkaraa.

”Kolmijalkainen jakkara seisoo alustasta riippumatta vakaasti, toisin kuin nelijalkainen.”

### ■語句・文法

keski-ajalta「中世から」[奪]< keski-aika／1900-luvulle「1900 年代へ」[向]< -luku／tuvan「農家の」[属]< tupa「古い農家の母屋、小屋」／epä-tasaisia「平らでない」[複分]< -tasainen／tuskin「ほとんど～ない、まず～ない」／funktionaalinen「機能主義的な」(Aalto は機能主義の建築家・デザイナーとして知られています。Kielitoimiston sanakirja <<https://www.kielitoimistonsanakirja.fi/#/>>で ”funktionalismi”「機能主義」を調べると ”tarkoituksenmukaisuutta korostava arkkitehtuurin ja taideteollisuuden tyylisuunta.”「目的にかなうことを重要視するような建築や応用美術における様式」と書かれています。)／sellaiseksi「そのようだ(=機能主義的だ)」[変]< sellainen／nimittää「名づける」< nimi／kolmi-jalkaista「三本脚の」[分]< -jalkainen／alustasta riippumatta「土台にかかわらず」(alustasta [出]< alusta < ala-, riippumatta MA 不 [欠]< riippua + [出])／

vakaasti「安定して」[副]< vakaa/toisin kuin ~「~とは異なり」(toisin [複具]< toinen)

### ●フィンランド語理解のための訳例

中世の時代から|1900年代へ|農民の家の|床は|平らではなかった。農民たちは|まず|使わなかった|語を|機能主義的な、|しかし|そのように|Relanderは|今|名づける|三本脚の|腰かけを。

「三本脚の|腰かけは|立つ|土台に|かかわらず|安定して、|四本脚とは異なり。

### ◎意訳

中世期から 1900 年代にいたるまでの間、農民の家の床は平らではなかった。農民たちが「機能主義的な」などという語を使うことはまずなかったはずだが、Relander は三本脚の腰かけをそのように名づけている。

「四本脚の腰かけとは違って、三本脚のものは土台がどのようなものであろうと安定する。」

## 【5】「垂直」+「水平」は家具デザインのカギとなる問題

Tasapainoa tarvittiin myös silloin, kun lehmiä lypsettiin haassa jakkaralla istuen. Talonpoikaisjakkaroiden jalat oli kiinnitetty tapeilla.

Pystysuoran ja vaakasuoran kappaleen liittäminen toisiinsa on yksi kalustesuunnittelun avainkysymyksiä, Relander kertoo.

Arkkitehti ja kalustesuunnittelija Alvar Aalto halusi ratkaista kysymyksen aivan uudella tavalla.

### ■語句・文法

tasa-painoa「バランスを、均衡を」[分]< -paino/tarvittiin「必要とされた」受過 < tarvita/lehmiä「乳牛を」[複分]< lehmä/lypsettiin「乳を搾られた」受過 < lypsää/haassa「(柵のある)牧草地で」[内]< haka = haka-maa/istuen「座りながら、座って」e 不[具]< istua/oli kiinnitetty「つながっていた、留められていた」受過完 < kiinnittää/tapeilla「杭で、釘で、ペグで」[複接]< tappi/pysty-suora「垂直の」/vaaka-suora「水平の」/kappaleen「物の、部品の」[属]< kappale/liittäminen「結び合わせること、つなぐこと」動名 < liittää/toisiinsa「おたがいへ」[複入]+ 複 3 所接 < toinen/avain-kysymyksiä「カギとなる問題のうち」[複分]< -kysymys (この複数分格は、前にある yksi と結びついて「~のうちの一つ」という意味を作っています) /ratkaista「解決する」/uudella tavalla「新しい方法で」[接]< uusi tapa

### ●フィンランド語理解のための訳例

バランスを|必要とされた|また|〈次の〉[ときに]|乳牛を|乳搾りをされた|牧草地の柵の中で|腰かけに|座りながら。農民たちの腰かけの|脚は|留められていた|杭で。

垂直の|そして|水平の|ものを|つなぐことは|おたがいへ|である|一つ|家具デザインの|カギとなる問題のうち、|Relanderは|語る。

建築家|そして|家具デザイナー|Alvar Aaltoは|望んだ|解決する|問題を|まったく|新しい|方法で。

## ◎意訳

牧草地の柵の中で腰かけに座って牛の乳を搾るときにもバランスが必要だった。〈そして〉農民の腰かけの脚は杭で固定されていた。

垂直〈である脚〉と水平〈である座面〉の部品をつなぎ合わせることは家具デザインのカギとなる問題の一つであると Relander は話す。

建築家であり家具デザイナーでもあった Alvar Aalto は、この問題を全く新しい方法で解決したいと考えた。

## 【6】Aalto と Korhonen により「曲がった脚」が誕生

Syntyi kaareva massiivipuujalka, jonka ainutlaatuisuutta Relander kertoo vuolaasti.

Aalto ja hänen luottopuuseppänsä Otto Korhonen kehittivät menetelmän, jonka avulla puuta saa taivutettua L-kirjaimen muotoon. Aalto nimittäin halusi, että jalat saa kiinnitettyä istuimen kanteen ruuveilla ilman monimutkaisia puusepän liitoksia. ”Puun taivuttaminen on vaivalloista, aikaa vievää ja kallista. Siksi se oli radikaali veto.”

### ■ 語句・文法

kaareva「曲がった」< kaari / massiivi-puu-jalka「無垢材の脚」(massiivi-puu「無垢材、化粧板などを貼りつけていない木材」) / ainut-laatuisuutta「独自性を、ユニークさを」[分] < -laatuisuus < -laatuinen < laatu / kertoo「繰り返す」単 3 現 < kerrata ⇒ kerta / vuolaasti「力強く、すばやく」[副] < vuolas / luotto-puu-seppänsä「(自らの)信頼を置く大工」[主]+ 単 3 所接 < -seppä / Otto Korhonen (1884-1935) は大工・家具デザイナーで自らの家具工房を設立しており、Alvar Aalto との共同作業でも知られています。 / menetelmä「方法」< menetellä < menettää < mennä / jonka avulla「その助けにより」(avulla [接] < apu) / saa taivutettua「折り曲げることができる」(taivutettua [分] < taivutettu 受過分 < taivuttaa < taipua。「saada + 受動過去分詞の分格 / 変格」で「うまいこと~する、~してしまうことができる」といった意味を表します。) / L-kirjaimen「Lの字の」(kirjaimen [属] < kirjain < kirja / nimittäin「すなわち」 / saa kiinnitettyä「留めることができる、つけることができる」(kiinnitettyä [分] < kiinnitetty 受過分 < kiinnittää < kiinni。「saada + 受動過去分詞の分格 / 変格」で「うまいこと~する、~してしまうことができる」) / istuimen「腰かけの」[属] < istuin < istua / kanteen「座面へ、ふたへ」[入] < kansi / ruuveilla「ねじで」[複接] < ruuvi / moni-mutkaisia「複雑な」[複分] < -mutkainen < mutka / liitoksia「つなぐこと、つなぎ目」[複分] < liitos < liittää / taivuttaminen「曲げることは」動名 < taivuttaa < taipua / vaivalloista「面倒な、苦勞の多い」[分] < vaivalloinen < vaiva / aikaa vievää「時間のかかるような」(vievää [分] < vievä 能現分 < viedä, aikaa vievä = aikaa-vievä) / radikaali「根本的な、過激な」 / veto「行動、技、芸当」 < vetää (veto はさまざまな日本語に相当しますが、ここではおそらく「技術」といった意味だと思います。)

### ● フィンランド語理解のための訳例

生まれた | 曲がった | 無垢材の脚が、 | それの | 独自性を | Relander は | 繰り返す | 力強く。

Aalto は|そして|彼の|信頼を寄せた大工|Otto Korhonen は|開発した|方法を、|その|助けて|木を|曲げることができる|Lの字の|形へ。Aalto は|すなわち|望んだ、|<次の>[ことを|脚を|つなげることができる|腰かけの|座面へ|ねじて|<次のこと>[なしで|複雑な|大工の|つなぐこと]。「木の|曲げることは|である|面倒な、|時間のかかるような|そして|高価な。そのため|それは|であった|過激な|技。

## ◎意訳

<水平な座面に垂直な脚をつなぎ合わせるために Aalto の努力により>無垢材の曲がった脚が誕生したが、それがいかに独特なものであるかを Relander は力強く繰り返し強調した。

Aalto と、彼が信頼を寄せた大工である Otto Korhonen は、木を L 字型に曲げることのできる技法を開発した。すなわち Aalto は、大工の複雑な技なしで足を椅子の座面にねじて取り付けられることを望んでいたのである。「木を曲げるというのは面倒が多く時間がかかり、そして高くつく作業である。そのため Aalto たちの開発した技法は思い切った芸当だったのである。」

## ★補足

Artek については日本語のサイトがあり、文字通り”Jakkara 60”の製造過程を撮影した動画などもみられるようです(<<https://www.artek.fi/jp/>>)。最初のページに「Artek の象徴的な製品を見る」という箇所がありますが、そこに「スツール 60」とありますので、クリックして細かく見てください。また、最初のページから「アルテックとは」>「アルテック製品」>「曲げの技法」と進むと、ここで取り上げた「Aalto 曲げ」の詳しい説明がみつかります。

## 【7】以前は蒸気力で曲げていたが

Aiemmin puuta oli Relanderin mukaan taivutettu kuuman höyryn avulla **baasaamalla**. Höyryttämällä taivutus kuitenkin jää loivaksi. Aalto ja Korhonen oivalsivat, että puukappale kannattaa sahata yläosastaan ohuiksi säleiksi, jolloin se taipuu helpommin jyrkkään kulmaan. Säleiden väliin he liimasivat viilukaistaleet, joiden ansiosta jalka myös pysyy muodossaan.

## ■語句・文法

aiemmin「以前は」/oli taivutettu「曲げられていた」受過完 <taivuttaa/Relanderin mukaan「Relander によれば」/höyry「蒸気」/baasaamalla「？」MA 不[接]<baasata(いろいろと調べてはみたのですが、この動詞の意味はわかりません。) /höyryttämällä「蒸気にあてることにより」MA 不[接]<höyryttää <höyry/taivutus「曲げは、曲げることは」<taivuttaa/jää loivaksi「緩やかなままとなる」(loivaksi[変]<loiva) /oivalsivat「気づいた、理解した」複 3 過 <oivaltaa/puukappale「木片を」[主対]/kannattaa「すべきである」(+ A 不)/sahata「のこぎりで切る」<saha /ylä-osastaan「(その)上の部分から、(その)上の部分を」[出]+ 単 3 所接 <-osa/ohuiksi säleiksi「薄片へ」[複変]<ohut säle/jolloin「そのときに」<joka/taipua「曲がる」/helpommin「より簡単に」[副]比<helppo/jyrkkään kulmaan「急激な角度へ」[入]<jyrkkä kulma/

liimasivat「糊づけした、接着した」複 3 過 < liimata < liima / viilu-kaistaleet「細長いベニヤ板を」(viilu「薄く切った単板、ベニヤ板」、kaistale「細長いもの」) / joiden ansiosta「それらのおかげで」(joiden [複属] < joka) / muodossaan「(自らの)形の中に」

### ●フィンランド語理解のための訳例

以前は|木を|Relander の|よれば|曲げられていた|熱い|蒸気の|助けて|baasata することにより。蒸気にあてることにより|曲げは|しかしながら|ままとなる|緩やかな。Aalto と Korhonen は|気づいた、|〈次の〉[ことに|木片を|すべきである|のこぎりで切る|上の部分から|薄い|片へ、|そのときに|それは|曲がる|より簡単に|急激な|角度へ。薄片の|間へ|彼らは|接着した|細長いベニヤ板を、|それらのおかげで|脚は|また|とどまる|(自らの)形の中に。

### ◎意訳

Relander によれば木材は、以前は蒸気を使って「baasata」することにより曲げていた。しかし、蒸気にあてて曲げた場合には、曲げは緩やかなものにしかならなかった。〈脚となる〉木材を上部から薄く切るべきであり、そうすれば木材はより容易に急角度へ曲げることができるということに Aalto と Korhonen は気づいた。薄く切った木材の間に、彼らは細長いベニヤ板を接着したが、そのおかげで脚はまた形状を維持することができた。

### ★補足

【6】のあとの「★補足」で紹介した Artek の日本語サイトですが、そこで「アルテックとは」>「アルテック製品」>「曲げの技法」と進むと次のような説明があります。

無垢材の先端から曲げる部分まで切れ目を数ミリ間隔で入れ、その間に薄いベニヤ板を挟み接着した後、熱を加えながら曲げるという製法です。L-レッグは、シンプルな工程でありながら、厚い無垢材を曲げることができ、さらに頑丈で安定した仕上がりになります。

<<https://www.artek.fi/jp/company/how-we-make-things>>

### 【8】L字型に曲げられた脚はデザインの世界では画期的発明

Aalto-jakkaraksikin kutsuttu Jakkara 60 on ensimmäinen huonekalu, jossa sittemmin patentoidut L-jalat nähtiin.

”Jakkara on ikoninen Aalto-taivutuksen paraatiesimerkki”, Relander sanoo. Massiivikoivun taivutus oli Relanderin mukaan pohjoismaisen kalustesuunnittelun läpimurto, joka herätti kansainvälisen kiinnostuksen.

### ■語句・文法

Aalto-jakkaraksikin「Aalto 腰かけとも」[変]+ -kin < -jakkara / kutsuttu「呼ばれたような」受過分 < kutsua / sittemmin「後に」 / patentoidut「特許権を与えられたような」[複主] < patentoitu 受過分 < patentoida < patentti / nähtiin「見られた」受過 < nähdä / ikoninen「象徴的な」 < ikoni /

taivutuksen「曲げの、曲げることの」[属]< taivutus/paraati-「代表的な、記念すべき、主要な」/  
massiivi-koivu「カバノキの無垢材」/läpi-murto「突破、ブレイクスルー、飛躍」/kansain-välisen  
「国際的な」[属]< -välinen < väli/kiinnostuksen「関心を」[属対]< kiinnostus < kiinnostaa

### ●フィンランド語理解のための訳例

Aalto 腰かけとも呼ばれる Jakkara 60 は、最初の家具、その中に後に特許権を与えられたような L 字型脚を見られた。

「腰かけは、象徴的な Aalto 曲げの代表的な例」、Relander はいう。カバノキの無垢材の曲げは、Relander のよれば、北欧諸国の家具デザインの飛躍、それは呼び覚ました国際的な関心を。

### ◎意訳

「Aalto 腰かけ」とも呼ばれる「Jakkara 60」は、後に特許権を獲得した L 字型脚がみられる最初の家具である。

「〈Jakkara 60 という〉腰かけは Aalto 曲げを象徴する記念すべき作品の代表例である」と Relander は話している。Relander によれば、カバノキの無垢材を曲げる技法は北欧の家具デザインにおける飛躍を意味するものであり、それは国際的な関心を呼び覚ました。

### ★補足

素人の私には十分には理解できませんが、Aalto たちの生み出した曲げの技術はある種の「大発明」だったようです。

### 【9】そりゃベニヤ板を貼り合わせた方が早くてお得!

Muissa kuin Aallon jakkarassa taivutetut jalat on Relanderin mukaan yleensä valmistettu yhteen laminoiduista ohuista viiluista. Näin myös Ikean jakkarassa. Tämän valmistustavan etu on Relanderin mukaan se, että tehdas voi valmistaa kymmeniä jalkoja yhdestä ahiosta. Isojen erien valmistaminen kerralla on edullisempaa kuin massiivipuun taivuttaminen, joka on hidasta ja vaatii Relanderin mukaan myös käsityötä.

### ■語句・文法

muissa kuin ~「~以外においては」(muissa[複内]< muu)/taivutetut「曲げられたような」[複主対]< taivutettu 受過分 < taivuttaa/on valmistettu「製造されている、作られている」受完 < valmistaa < valmis/yhteen「一つへ」[入]< yksi/laminoiduista「重ね合わされたような」[複出]< laminoitu 受過分 < laminoida/ohuista viiluista「薄いベニヤ板から」[複出]< ohut viilu/valmistus-tavan「製造方法の」[属]< -tapa/kymmeniä「数十の」[複分]< kymmenen/yhdestä「一つの」[出]< yksi/ahiosta「木型から、型板から、鋳型から」[出]< aihio/isojen erien「大量の」[複属]< iso erä (erä「一回に製造される量」)/valmistaminen「製造することは」動名 <



valmistaa / kerralla 「一度に」 [接] < kerta / edullisempaa 「よりお得な、より安価な」 [分] < edullisempi 比 < edullinen < etu / taivuttaminen 「曲げること」動名 < taivuttaa / käsi-työtä 「手作業を」 [分] < -työ

### ●フィンランド語理解のための訳例

〈次〉 [以外においては | Aalto の | 腰かけにおいて] | 曲げられた | 脚は | Relander の | よれば | ふつう | 製造されている | [一つへ | 重ね合わされたような | 薄い | ベニヤ板から]。こう | また | イケアの | 腰かけにおいて。この | 製造方法の | 利点は | である | Relander の | よれば | 〈次の〉 [こと | 工場は | できる | 製造する | 数十の | 脚を | 一つの | 木型から]。大きな | 量の | 製造することは | 一度に | である | よりお得な | 〈次〉 [よりも | 無垢材の | 曲げること、 | それは | 遅い | そして | 要求する | Relander の | よれば | また | 手作業を]。

### ◎意訳

Aalto の腰かけ以外では、曲がった脚はふつう薄いベニヤ板を一つに貼り合わせて製造されている。イケアの腰かけの場合にも、このように製造されている。Relander によれば、この製造法の利点となるのは、工場において一つの木型から数十本もの脚を製造できるということである。時間がかかり、Relander によれば、ときには手作業も必要とする無垢材を曲げる作業よりも、一度に大量の製品を製造することはお得である。

### ★補足

Aalto たちの曲げの技術は「大発明」ではあったのですが、一方で手間のかかる「非効率」な作業なのでしょう。そのため、我々の求める「安い」「お得な」「リーズナブルな」、そして「コスパのよい」製品を生む出すには適していないということなのでしょう。

### 【10】「早くてお得」は家具デザインの敵？

”Esimerkiksi Ikean tuotantomäärät ovat satakertaisia Artekiin verrattuna”, Relander arvioi.

Artekin huonekaluja valmistaa Suomessa turkulainen A-Factory. Ikealla puolestaan on useita valmistajia ja tavarantoimittajia eri puolilla maailmaa.

Arvonsa on myös kotimaassa valmistetun kalusteen työllistävällä vaikutuksella, Relander huomauttaa. Kalustesuunnittelun asiantuntijana hän ajattelee, että halpatuotanto voi pahimmillaan viedä kalustesuunnittelun Suomesta.

### ■語句・文法

tuotanto-määrä 「生産量」 / sata-kertaisia 「百倍の」 [複分] < -kertainen / Artekiin 「Artek へ」 [入] < Artek / verrattuna 「比較されると、比較すると」 [様] < verrattu 受過分 < verrata (+ [入]) / arvioida 「評価する、判断する」 < arvio / A-Factory は Turku にある Artek の自社工場 / 「puolestaan 「一方」 / useita valmistajia ja tavarantoimittajia 「多くの製造者と製品供給者」 [複分] < usea valmistaja ja tavarantoimittaja / eri puolilla maailmaa 「世界のさまざまな場所に」 / arvonsa 「自

らの価値」[主]+ 単 3 所接 < arvo / kotimaassa valmistetun kalusteen「国内で生産される家具の」(valmistetun [属] < valmistettu 受過分 < valmistaa) / työllistävällä vaikutuksella「就労させるような影響には、雇用を生み出すような影響には」[接] < työllistävä vaikutus (työllistävä 能現分 < työllistää < työllinen < työ) / asian-tuntijana「専門家として」[様] < -tuntija < tuntea / halpa-tuotanto「安い生産、低コストの生産」/ pahimmillaan「最悪の場合には」[複接]+ 単 3 所接 < pahin 最 < paha

### ●フィンランド語理解のための訳例

「たとえば|イケアの|生産量は|百倍である|Artek に|比較されると」、|Relander は|評価する。

Artek の|家具を|製造する|フィンランドで|Turku の|A-Factory が。イケアには|一方|いる|多くの|製造者が|そして|製品供給者が|さまざまな|側に|世界の。

(自らの) 価値が|ある|また|自国で|生産されるような|家具の|就労させるような|影響には、|Relander は|指摘する。家具デザインの|専門家として|彼は|考える、|<次の> [ことを|安い生産は|ありうる|最悪の場合には|もっていく|家具デザインを|フィンランドから。

### ◎意訳

「たとえばイケアの生産量は Artek と比較すれば百倍にも達する」と Relander は評価している。

Artek の家具は Turku の A-Factory がフィンランドで製造している。一方、イケアには世界中に製造業者や部品などの供給業者(サプライヤー)がいる。

国内で生産される家具の雇用創出の影響にもそれ自身の価値というものがある、と Relander は指摘する。家具デザインの専門家として彼は、低コストによる生産というものは最悪の場合にはフィンランドから家具デザインというものを持ち去ってしまうと考えている。

### ★補足

ここまで製造方法の話のみてきました。次は原材料に目を向けてみましょう。

### 【11】製造方法に加え原材料も価格に反映される

Valmistumistavan lisäksi kalusteen hintaan vaikuttaa luonnollisesti materiaali. Mitä virheettömämpää ja tasavärisempää puu on, sitä kalliimpaa se Relanderin mukaan on.

Ikean jakkara on valmistettu koivuvanerista ja koivuviilusta. Vaneri on Relanderin mukaan esimerkiksi täyspuuhun verrattuna edullinen ja vaivaton ratkaisu.

### ■語句・文法

valmistumis-tapa「製造方法」/ luonnollisesti「当然」[副] < luonnollinen < luonto / virheettömämpää「より欠点のない」[分] < virheettömämpi 比 < virheetön < virhe / tasavärisempää「より均一な色の」[分] < -värisempi < -värinen < väri / kalliimpaa「より高価な」[分] < kalliimpi 比 < kallis / 「mitä + 比較級、sitä + 比較級」で「～であればあるほど、それだけ…だ」

／on valmistettu「製造されている」受完 < valmistaa／koivu-vanerista「カバノキの合板から」[出]  
< -vaneri／täys-puuhun「無垢材（合板ではない木材）へ」[入]< -puu

### ●フィンランド語理解のための訳例

製造方法の|加えて|家具の|値段へ|影響する|当然|材料が。〈次のようで〉[あればあるほど|より欠点の少ない|そして|より均一な色の|木が|である]、|それだけ|より高価な|それは|Relanderの|よれば|である。

イケアの|腰かけは|製造されている|カバノキの合板から|そして|カバノキのベニヤ板から。合板は|である|Relanderの|よれば|たとえば|無垢材へ|比較されると|お得な|そして|面倒のない|解決策。

### ◎意訳

製造方法に加え、当然のことながら家具の価格には材料が影響する。Relanderによれば、木材の欠点の少なければ少ないほど、そして均一な色をしていればしているほど、それだけ高価である。

イケアの腰かけはカバノキの合板とベニヤ板から製造されている。Relanderによれば、無垢材と比べれば合板は安価で手間のかからない解決策である。

### 【12】イケアの木材と Artek の木材はどこから来ているのか

HS kysyi Ikeasta, mistä sen käyttämä koivu on peräisin. Yritys vastasi sähköpostitse, että se käyttää puuta noin 50 maasta eri puolilta maailmaa.

Vertailun kalliimpi jakkara on puolestaan kokopuuta. Artek kertoo verkkosivullaan, että se käyttää huonekaluihinsa suomalaista koivua.

”Tasainen vaalea väri, suorat puunsyyt ja oksattomuus kertovat, että puu on huolellisesti valittu”, Relander sanoo.

### ■語句・文法

käyttämä「使うような」動分 < käyttää／peräisin「～の出身で、～起源で」／sähkö-postitse「電子メールを通じて」< -posti (-i)tse は「～を通じて」という意味を表します)／vertailu「比較」< vertailla < verrata／kalliimpi「より高価な」比 < kallis／koko-puuta「丸太で（できて）、無垢材で（作られて）」[分]< -puu／verkko-sivullaan「(自らの)ホームページで」[接]+ 単 3 所接 < sivu／huonekaluisinsa「(自らの)家具へ」[複入]+ 単 3 所接 < -kalu／puun-syy = puu-syy「木目」(suorat puun-syyt「まっすぐな木目」のことを「柾目(まさめ)」といい、逆に曲線を含むような木目を「板目(いため)」と呼ぶのではないかと思います。「柾目」の方が一本の丸太からとれる量は少なくなるということのようです。興味があればインターネット等で調べてみてください。)／oksattomuus「枝がないこと、節がないこと」< oksaton < oksa／on valittu「選ばれている」受完 < valita／huolellisesti「注意深く」[副]< huolellinen < huoli

### ●フィンランド語理解のための訳例

『Helsinki 新聞』は|尋ねた|イケアに、|どこから|その|使うような|カバノキは|出身なのか。企

業は|答えた|電子メールを通じて、|〈次の〉[ことを|それは|使う|木を|約|50の|国々から|さまざま|側から|世界の]。

比較の|より高価な|腰かけは|である|一方|無垢材で(作られて)。Artekは|話す|(自らの)ホームページにおいて、|〈次の〉[ことを|それは|使う|(自らの)家具へ|フィンランドの|カバノキを]。

「均一な|明るい|色は、|まっすぐな|木目は|そして|枝のないことは|語る、|〈次の〉[ことを|木を|注意深く|選ばれている]、|Relanderは|いう。

## ◎意訳

『Helsinki 新聞』はイケアに対して、同社が使用するカバノキはどこで産出されているのか質問をした。同社は世界中の約50か国の木材を使用していると電子メールにて回答してきた。

一方、〈今回比較をしている二つのうち Artek の〉高価な方の腰かけは無垢材から作られている。Artekは自社の家具にフィンランド産のカバノキを使用しているとホームページにおいて語っている。

「〈Artek の使用する木材の〉均一な明るい色、まっすぐな木目、そして節のないことは、木材が注意深く選別されていることを物語っている」と Relander はいう。

## ★補足

原材料についてみましたが、その原材料をどのように扱うのかというのも重要な問題のようです。

## 【13】腰かけの色から乾燥方法がわかる

Hänen silmänsä huomaa jakkaroissa pienen värieron. Artekin jakkara on tasaisen vaalea, kun taas Ikean jakkara punertaa aavistuksen. Tämä kertoo Relanderin mukaan siitä, että materiaalina käytetty koivu on kuivatettu eri tavalla.

”Vaalea sävy säilyy, kun koivu ilmakuivataan.”

Toisin sanoen Artekin jakkaraan käytetty puu on saanut kuivua hitaasti ulkoilmassa. Jälleen yksi aikaa vievä valmistusvaihe, Relander huomauttaa.

Edullisemmän jakkaran punertava sävy viittaa hänen mukaansa siihen, että puu on kuivatettu teollisesti uunissa.

## ■語句・文法

väri-eron「色の違いに」[属対]<-ero/tasaisen「均一に」[副]<tasainen/kun taas「一方で」/punertaa「赤みを帯びる」<puna ⇒ punainen/aavistuksen「わずかに」[属]<aavistus (aavistuksen verran で「わずかに」という意味ですが、このように aavistuksen だけでも「わずかに」という意味を表せるのかどうか、正直なところわかりません。)/siitä, että ~「~だということについて」/materiaalina käytetty「材料として使われているような」(materiaalina [様]<materiaali, käytetty 受過分 <käyttää)/on kuivatettu「乾燥させられている」受完 <kuivattaa <kuiva/sävy「色合い、色調」/ilma-kuivataan「空気乾燥させられる、自然乾燥させられる」受現 <-kuivata /toisin sanoen「別の言い方をすれば」(toisin [複具]<toinen, sanoen e 不 [具]<sanoa)/Artekin jakkaraan käytetty puu「Artek の腰かけに使われている木」(käytetty 受過分 <käyttää)

／kuivua「乾く」< kuiva／valmistus-vaihe「製造段階」／edullisemman「より安価な」[属]< edullisempi 比 < edullinen < etu／punertava sävy「赤みを帯びる色調」(punertava 能現分 < punertaa)／viittaa「言及する、示す」単 3 現 < viitata (+[入])／siihen, että ~「～だということへ」／teollisesti「工業的に」[副]< teollinen／uunissa「窯で」[内]< uuni

### ●フィンランド語理解のための訳例

彼の|目は|気づく|腰かけの中に|小さな|色の違いを。Artek の|腰かけは|である|均一に|明るい、|一方で|イケアの|腰かけは|赤みを帯びる|わずかに。これは|語る|Relander の|よれば|〈次の〉[ことについて|材料として|使われる|カバノキを|乾かされている|異なる|方法で]。

「明るい|色合いは|維持される、|〈次の〉[ときに|カバノキを|空気乾燥させられる]。

別に|いえば|Artek の|腰かけに|使われる|木は|できている|乾く|ゆっくりと|外気の中で。再び|一つの|時間を|連れ去るような|製造段階、|Relander は|指摘する。

よりお得な|腰かけの|赤みを帯びるような|色合いは|言及する|彼の|よれば|〈次の〉[ことへ|木を|乾かされている|工業的に|窯の中で]。

### ◎意訳

彼<=Relander>の目は、<Artek とイケアの>腰かけの中のわずかな色の違いに気づく。Artek の腰かけは均一に明るい色をしているが、一方でイケアの腰かけはかすかに赤みを帯びている。Relander によれば、これ<=この色のわずかな違い>は、材料として使用されるカバノキが異なる方法で乾燥させられていることを物語っている。

「カバノキは空気乾燥させられた場合に明るい色合いが保たれる。」

別の言い方をすれば、Artek の腰かけに使用される木は外気の中でゆっくりと乾燥できているということになる。〈ここに〉また時間のかかる製造工程が一つ〈加わることになる〉と Relander は指摘する。

彼によると、値段の安い方の〈イケアの〉腰かけの赤みを帯びた色合いは、木が窯の中で工業的な方法により乾燥させられていることを示している。

### 【14】すべてが価格に反映される

Valmistusprosessin erot näkyvät Relanderin mukaan jakkaroiden hinnassa. Edullisista materiaaleista ja usealla tehtaalla on mahdollista valmistaa halvempia kalusteita kuin pienellä tehtaalla kotimaisista materiaaleista. Myös käsin tehtävä työ lisää hintaa.

### ■語句・文法

valmistus-prosessi「製造過程」／halvempia「より安い」[複分] < halvempi 比 < halpa／käsin「手で」[複具] < käsi／tehtävä「なされるような」受現分 < tehdä

●フィンランド語理解のための訳例

製造過程の|違いは|見える|Relander の|よれば|腰かけたちの|値段の中に。お得な|材料から|そして|多くの|工場で|可能である|製造することが|より安い|家具を|〈次〉[よりも|小さな|工場|で|国産の|材料から]。また|手で|行われるような|作業は|増やす|値段を。

◎意訳

Relander によれば、製造工程における違いは腰かけの価格に現れることになる。多くの工場で安価な材料を使えば、小さな工場で国産の材料を使うよりも安い家具を製造することが可能になる。そして手作業もまた価格を押し上げることになる。

【14】腰かけごときにいくら支払うべきか

Mitä jakkaran kaltaisesta kalusteesta kannattaa maksaa? Riippuu siitä, mitä siltä haluaa, HS-vertailu osoittaa.

■語句・文法

kaltaisesta「~のような」[出]<kaltainen ([属]+) / kannattaa「~すべきだ、~する価値がある」 / riippuu siitä, mitä ~「何を~なのかによる」 / siltä「それから」[奪]<se

●フィンランド語理解のための訳例

何を|腰かけの|ような|家具について|価値がある|支払う?よる|〈次の〉[ことに]|何を|それから|望むのか]、『Helsinki 新聞』の比較は|示す。

◎意訳

腰かけのような家具にいくら支払う価値があるのだろうか。〈それは〉腰かけに何を求めるのかによるだろうということを、〈今回の〉『Helsinki 新聞』における比較は示している。

★補足

さて、皆さんは「腰かけ」や家具を買うときに、何を求めているのでしょうか。言い換えれば「北欧らしさ」とか「北欧デザイン」とかというときに、我々は何を思い描いているのでしょうか。はたして次のようなことまで考えていたのか、私自身は自問しています。

【15】想像的な人間が生み出すものへの敬意

”On väärin kopioida luovan ihmisen työ taloudellisen edun takia”, hän sanoo. Uuden luominen on aina vaikeaa, riskialtista ja kallista, Relander huomauttaa. Etukäteen ei voi tietää, tuottaako työ voittoa.

”Kopioija sen sijaan tulee valmiiseen pöytään. Se on jo nähnyt, mikä kannattaa, eikä ota riskejä.”

## ■ 語句・文法

luovan「創造的な」[属] < luova 能現分 < luoda/työ「仕事を、作業を」[主対] (この語は A 不定詞 kopioida の目的語ですが、通常であれば属格の形になる単数対格目的語が A 不定詞の目的語となる場合には主格の形になります。) / luominen「創造すること」動名 < luoda/riski-altista「リスクをとまなうような、危険な」[分] < -altis/etu-käteen「事前に」/voittoa「利益を、黒字を」[分] < voitto < voittaa/kopioija「コピーする人」< kopioida/sen sijaan「その代わり、それに対して」/kannattaa「利益を生み出す、やる価値がある」/riskejä「危険をリスクを」[複分] < riski

## ● フィンランド語理解のための訳例

「まちがっている|コピーすることは|創造的な|人間の|作業を|経済的な|利益の|ために」、|彼は|いう。新しいものの|創造することは|である|つねに|難しい、|危険をとまなうような|そして|高くつくような、|Relander は|指摘する。事前に|できない|知る、|[生み出すかどうか|作業は|利益を]。  
「コピーする者は|その|代わりに|来る|準備のできた|テーブルへ。それは|すでに|見えている、|何が|利益を生むのか、|そして|とらない|危険を。」

## ◎ 意訳

「経済的利益のために創造的な人間の仕事をコピーすることはまちがっている」と彼はいう。新しいものを創り出すことはつねに困難で危険をとまなうものであり、そして高くつくものであると Relander は指摘する。作業が利益を生み出すのかどうかを事前に知ることはできない。

「それに対してコピーする人間は準備のできたテーブルにつくようなものだ。それはすでに何が利益を生むのかわかっており、危険を冒すことはしない。」

## ★ 補足

この文章を読むと「何かを買う」という行為が「創造性を守る」あるいは「創造性をぶち壊す」ということにつながるのだということがわかります。つまり「消費」というのは、ただ単に何かを買って使い果たすことではなく、それは人間にとって不可欠な創造性というものを高める／低める行為になるのだということを恥ずかしながら知りました。

さて、次の【16】は資料 V-1 の【7】で登場した家具デザイナーで教員でもある Pänkäläinen さんの、そして【17】はやはり V-1 で登場した若手デザイナー Anonen さんの言葉です。

## 【16】「必要なものだけを買いなさい」

Oli huonekalu tai esine sitten Ikeasta tai designliikkeestä, Pänkäläisellä on kuluttajille toive: ostakaa vain sitä, mitä tarvitsette.

”Ehkä tämä maapallo ei kestä jatkuvaa trendien muutosta, jossa hankinta vaihtuu vuoden päästä uuteen.”

## ■ 語句・文法

最初の文では動詞が oli と過去形になり、しかも文頭に置かれています。このように過去形の動詞

が、多くの場合文頭に置かれると「たとえ～であろうとも、～だとしても」といった意味を表します。また sitten という語が出てきますが、この語は二つの選択肢（ここでは Ikeasta tai design-liikkeestä「イケアから、あるいはデザインショップから」）を並べるときなどに使われますが、とくに日本語に訳す必要はない気がします。/ sitä, mitä tarvitsette「あなたたちが必要とするようなものを」/ ei kestä「耐えられない、持続しない」 単 3 現否 < kestää/jatkuvaa「続くような」[分]< jatkuva 能現分 < jatkua/trendien「傾向の、流行の」[複属]< trendi/hankinta「入手は、購入は」< hankkia/vaihtua「替わる」< vaihtaa/vuoden päästä「一年先に」/ uuteen「新しいものへ」[入]< uusi

### ●フィンランド語理解のための訳例

たとえ～であろうが|家具が|あるいは|品物が|イケアから|あるいは|デザインショップから|、Pänkäläinen には|ある|消費者に対して|希望が|:買いなさい|ただ|それを、|それを|あなたたちは必要とする。

「おそらく|この|地球は|耐えられない|続くような|流行の|変化に|、そこでは|入手は|替わる|一年先に|新しいものへ。」

### ◎意訳

家具や品物がイケアのものであろうと、どこかのデザインショップのものであろうと、Pänkäläinen には消費者に対して望むことがある:あなたたちが必要とするものだけを買いなさい、ということだ。

「一年先には新しいものへ買い替えるといった絶え間のない流行の変化には、おそらくこの地球は耐えられないだろう。」

### 【17】「次の行き先があるのかどうか」

”Mutta oli kyseessä Ikea tai mikä tahansa muu brändi, ostopäätöstä tehdessä on hyvä miettiä, onko tuotteella seuraavaa sijoituspaikkaa. Onko se roskakamaa?”

### ■語句・文法

mutta という接続詞に続く最初の文は過去の話をしているわけではありませんが、動詞は oli と過去形になっています。このように過去形の動詞が、多くの場合文頭に置かれると「たとえ～であろうとも、～だとしても」といった意味を表しますので、oli kyseessä は「問題となるのが～であろうとも」といった意味です。/ mikä tahansa「何でも、どの～でも」/ osto-päätöstä「購入の決断を」[分]< - päätös < päättää/tehdessä「するときに」e 不[内]< tehdä[時構]/tuotteella「製品には」[接]< tuote/seuraavaa sijoitus-paikkaa「次の置き場所、次の行き先」[分]< seuraava sijoitus-paikka (sijoitus < sijoittaa < sija)/roska-kamaa「ガラクタ、ゴミのような品物」[分]< -kama

### ●フィンランド語理解のための訳例

「しかし|[～あろうとも|問題に|なるのが]|イケアか|あるいは|どの～でも|他の|ブランド]、|購入の決断を|するときに|よい|考えることが、|あるのかどうか|製品に|次の|置き場所が。|だろうか|それは|ガラクタ品？」



## ◎意訳

しかし、問題となるのがイケアだろうが他のどのブランドだろうが、買うかどうかを決める際には、その商品に次の行き先があるのかどうか考えるのがよいだろう。それはただのガラクタなのかどうか〈考えるべきだろう〉。

## ★補足

それではイケアに話を戻していきます。なお、イケアについては日本語で次のような文献もありますので、参考にしてください(私の手元にあるのはこの二冊だけですが、もっとあるかもしれません)。

## 📖参考になる図書

クリストフフェション、サーラ(太田美幸 訳). 2015. 『イケアとスウェーデン—福祉国家イメージの文化史』新評論.

日経デザイン(編). 2015. 『「買わずにいられない!イケアのデザイン」』日経 BP 社.

それでは、【18】ではイケアを非難する記事の一部を、そして【19】ではイケアを擁護するイケアの販売員の意見をみていきましょう。

## 【18】イケアの「緑のごまかし」は悪質だ

KEA:n viherpesu onkin erityisen törkeää, kun yhtiön brändi on rakennettu osin ympäristöystävällisyyden mielikuvalle. “IKEA-tuotteiden puu ei saa olla peräisin koskemattomista luonnonmetsistä tai metsistä, joilla on erityistä suojeluarvoa, ellei niitä ole sertifioitu vastuullisesti hoidetuiksi.”

## ■語句・文法

viher-*pesu*「うわべだけ環境に配慮しているように装うこと、グリーンウォッシュ、緑のごまかし」(この語については、資料IV-9の【1】の後の「★補足」で扱いましたので確認してください)／*erityisen*「とくに」[属]=[副](形容詞の属格は他の形容詞や副詞を修飾できます)／*törkeä*「悪質な、卑劣な」／*yhtiö*「企業、会社」< *yksi*／*brändi*「ブランド、商標」／*on rakennettu*「構築されている」受完 < *rakentaa*／*osin*「部分的に」< *osa*／*ympäristö-ystävällisyyden*「環境にやさしいことの」[属] < *-ystävällisyys* < *-ystävällinen* < *ystävä*／*mieli-kuvalle*「心象(の上)へ、イメージ(の上)へ」[向] < *-kuva*／*koskemattomista luonnon-metsistä*「触れられていないような自然林から」[複出] < *koskematon luonnon-metsä* (*koskematon* 否分 < *koskea*)／*joilla*「それらに」[複接] < *joka*／*erityistä suojelu-arvoa*「特別な保全価値、高い保護価値」[分] < *erityinen suojelu-arvo*／*ellei*「もし~でなければ」= *jollei* = *jos ei*／*ei ole sertifioitu*「証明されていない」受現否 < *sertifioida*／*vastuullisesti*「責任をもって」[副] < *vastuullinen* < *vastuu* < *vastata*／*hoidetuksi*「管理されているのだと」[変] < *hoidettu* 受過分 < *hoitaa*

## ●フィンランド語理解のための訳例

イケアの|緑のごまかしは| (実に) ~である|とくに|悪質な、|なぜなら|会社の|ブランドを|構築さ

れている|部分的に|環境にやさしいことの|イメージへ。「イケア製品の|木は|あってはならない|出身で|手つかずの|自然林から|あるいは|森林から、|それらには|ある|特別な|保全価値が、|もし~いなければ|それを|証明されて|責任をもって|管理されているのだと。」

### ◎意訳

イケアによる「緑のごまかし(グリーンウォッシュ)」はとくに悪質なものである。というのも、イケアという企業ブランドは部分的にであっても環境に対するやさしさというイメージのうえに構築されているからである。「イケア製品に使われる木材は手つかずの自然林からとられたものであってはならないし、もし責任をもって管理されていると証明できないのであれば、特別な保全価値のある森林からとられたものでもあってはならない。」

### ★補足

【18】はイケアに対して viherpesu「緑のごまかし、グリーンウォッシュ」だと批判する立場を代表しています。一方、次の【19】は「どのようにしてイケアがフィンランドにおいて質の高い倫理的な企業として自らを売り込むことに成功しているのか」という質問に対するイケアの社員による回答が中心になっています。記者の質問に答えているのは Tiina Koivula さんというイケアの販売員です。

### 【19】イケアの倫理観に同志としての強い意識を感じる

Viestinnällä. Selitämme ylpeydellä kestävää kehitystä, esimerkiksi sitä, miksi emme enää myy muovipillejä. Arkipäivän ratkaisut, kuten kierrätystuotteet, näyttävät kuluttajille vastuullisuutta.”

Eettisyys näyttää olevan myös työntekijöiden ajatuksissa.

”Yllätyin, kuinka hyvin täällä kierrätetään. Esimerkiksi ruokahävikki muutetaan biokaasuksi ja myymälän katolla on 2 000 aurinkopaneelia. Saatuani tietää näistä asioista koin enemmän hengenheimolaisuutta Ikeaan työpaikkana”, Koivula kertoo.

### ■ 語句・文法

viestinnällä「コミュニケーションによって、情報のやり取りによって、広報によって」[接]< viestintä < viestiä < viesti / ylpeydellä「誇りにより、誇りをもって」 / kestävää kehitystä「持続可能な発展を」[分]< kestävä kehitys (kestävä 能現分 < kestää, kehitys < kehittää) / sitä, miksi ~「なぜ~なのかということ」 / muovi-pillejä「プラスチック製ストローを」[複分]< -pilli / kierrätys-tuotteet「リサイクル製品」[複主]< -tuote / vastuullisuutta「責任を、責任を果たすということ」[分]< vastuullisuus < vastuullinen < vastuu < vastata / eettisyys「倫理性、倫理的であること、倫理観」 / näyttää olevan「あるように見える、あるようだ」(olevan [属]< oleva 能現分 < olla) [分構] / yllättyä「驚く」< yllättää / kierrätetään「リサイクルされる」受現 < kierrättää < kiertää / ruokahävikki「食品廃棄物を、生ゴミを」[主対] / muutetaan「変えられる」受現 < muuttaa / biokaasuksi「バイオガスへ」[変]< -kaasu / aurinko-paneelia「太陽光パネルが、ソーラーパネルが」[分]< -paneeli / saatuani「私ができた後で」[分]+ 単1所接 < saatu 受過分 < saada [時構] /

koin「経験した、感じた」単 1 過 < kokea/hengen-heimolaisuutta「(同じ考えをもつ)同志であることを、親近感を、仲間であることを」[分]< -heimolaisuus < -heimolainen < heimo

### ●フィンランド語理解のための訳例

コミュニケーションによって。我々は説明する|誇りをもって|持続可能な|発展を、|たとえば|なぜ|我々はしない|もはや|売る|プラスチック製のストローを。日常の|解決策は|、リサイクル製品のような|、見せる|消費者たちへ|責任を持つということを。」

倫理的であることは|見える|あるように|また|労働者たちの|考えの中に。

「私は驚いた、|どのように|うまく|ここでは|リサイクルされる。たとえば|食品廃棄物を|変えられる|バイオガスへ|そして|売店の|屋根に|ある|2000 の|太陽光パネルが。私ができた後で|知る|これらの|事柄について|私は感じた|より多く|同じ考えをもつ同志であることを|イケアに対して|職場として」、Koivula は語る。

### ◎意訳

〈イケアがフィンランドにおいて質の高い倫理的な企業として自らを売り込むことに成功しているのは〉情報のやり取りによってである。我々は、たとえば、なぜ我々がもはやプラスチック製のストローを売らないのかといった持続可能な発展〈の取り組み〉を、誇りをもって説明している。リサイクル製品など日々の取り組みが責任をもつということを消費者たちに〈具体的に〉示している。

倫理観というものが労働者たちの考えの中にも存在しているようだ。

「ここイケアでいかにリサイクルがうまくなされているのかに私は驚いた。たとえば食品廃棄物はバイオガスに変えられ、店舗の屋根には 2000 もの太陽光パネルがある。これらのことについて知ることができると、私は職場としてのイケアに対して同志としての意識をより感じるようになった」と Koivula は語っている。

### ★補足

【18】と【19】の大きく異なる意見については、我々一人一人が判断すべきです。それでは、Artek やイケアの話から一度離れます。「北欧らしさ」や「北欧デザイン」というものに我々が何を求めるのか、という大きな問題について考えるために、テーマⅢやテーマⅣの資料を通じて考えてきた問題を振り返りましょう。

### 【20】脱成長は幸福概念が変化したときに実現する

Kohtuullisuus toteutuu hyvinvointikäsitteen muuttuessa materiaalisesta ja kulutuskeskeisestä henkiseksi, ihmissuhdekeskeiseksi ja omistamisen merkitystä kyseenalaistavaksi. Tällöin korostuu elämän tarkoitus ja merkityksellisyys. Ekososiaalisesti sivistynyt ihminen saattaa pohtia, että tarvitaan enemmän palveluja ja vähemmän omistamista, sillä tavaravaura on luonnonvara- ja energiaintensiivisempää kuin palvelun käyttäminen.

## ■ 語句・文法

kohtuullisuus「妥当性、ほどほどであること、脱成長」< kohtuullinen (資料IV-8と9で kohtuullisuus「脱成長経済、ほどほどの経済」を取り上げました。そこで、kohtuu-, kohtuus-, kohtuullinenなどの語が出てきていますので、場合によっては参照してください。) / toteutua「実現する、達成される」< toteuttaa < tosi / hyvin-vointi-käsityksen「福祉<という>概念の、幸福<という>概念の」[属] < -käsitys < käsittää < käsi / muuttuessa「変わるときに」e 不 [内] < muuttua [時構] / materiaalisesta「物質的なものから」[出] < materiaallinen / kulutus-keskeisestä「消費中心のものから」[出] < -keskeinen < keski- / henkiseksi「精神的なものへ」[変] < henkinen < henki / ihmishuone-keskeiseksi「人間関係中心のものへ」[変] < -keskeinen / omistamisen「所有することの」[属] < omistaminen 動名 < omistaa < oma / kyseen-alastavaksi「疑うようなものへ、疑問を呈するようなものへ」[変] < -alastava 能現分 -alastaa < -alainen / korostua「強調される、重要視される、重要になる」< korostaa < korko < korkea / merkityksellisyys「意義」< merkityksellinen < merkitys < merkitä < merkki / eko-sosiaalisesti「生態社会的に、環境社会的に」[副] < -sosiaalinen (eko-sosiaalinen は英語の ecosocial に倣ったものだと思いますが、それは ecological と social が結びついたものでしょう。一言でいえば「環境にかかわる事柄」と「社会的な事柄」は密接に結びついており、どちらかだけでは存在しえないといった考えを表すものだと思います。) / sivistynyt「教養を身に着けたような、成熟したような」能過分 < sivistyä / pohtia「考える、熟考する、検討する」 / palveluja「サービスを」[複分] < palvelu < palvella / omistamista「所有することを」[分] < omistaminen 動名 < omistaa / sillä「なぜなら」 / tavara-vauraus「モノの豊かさ」(vauraus < vauras) / luonnon-vara- ja energia-intensiivisempää「より天然資源とエネルギー集約型の、天然資源とエネルギーをより大量消費するような」[分] < -intensiivisempi 比 < -intensiivinen (intensiivinen には luonnon-vara-「天然資源」と energia-「エネルギー」の両方が結びつきます)

## ● フィンランド語理解のための訳例

妥当であることは|実現する|[福祉<という>概念の|変わるときに|物質的なものから|そして|消費中心のものから|精神的なものへ、|人間関係中心のものへ|そして|所有することの|意味を|疑うようなものへ]。このとき|強調される|人生の|目的が|そして|意義が。環境社会的に|成熟したような|人間は|できる|熟考する、|<次の>[ことを|必要とされる|より多く|サービスを|そして|より少なく|所有することを、|なぜなら|モノの豊かさは|である|天然資源|そしてエネルギー|より集約型の|サービスの|使うことより。

## ◎ 意訳

妥当性(脱成長)は幸福という概念が物質的・消費中心のものから精神的・人間関係中心のものへ、そして所有することの意味に疑問を呈するようなものへ変化するときを実現するものだろう。そのときには、生きるということの目的や意義が重要視されることになる。環境社会的に成熟した人間というものは、必要なのはより多くのサービスであり、所有することではないと考えることができるだろう。なぜなら、モノの豊かさというものはサービスを使用することに比べればより多くの天然資源やエネルギーを消費するものだからである。

## 【21】幸福感や満足感を生み出すのは品物の量ではない

Hän ehkä pysähtyy kysymään, mitä loppujen lopuksi tarvitaan enemmän ja mitä vähemmän, sillä ehdoton ”tätä ei lainkaan” ja ”ainoastaan tätä” -tyyppinen lähestyminen tukahduttaa ehdottomuudessaan ihmisten välistä vuorovaikutusta. Hänen arkisia valintojansa ohjaa yhä useammin todellinen tarve, sillä hän on havainnut, että tavaroiden määrä ei näytä lisäävän ihmisen henkilökohtaisen onnellisuuden, tyytyväisyyden tai terveyden määrää. Sen sijaan tyytyväisyyttä tuottavat aineettomat asiat kuten itsestä ulospäin suuntautuminen.

### ■ 語句・文法

hän = eko-sosiaalisesti sivistynyt ihminen 「環境社会的に成熟した人間は」 / pysähtyä 「止まる」 / loppujen lopuksi 「最終的に、結局のところ、とどのつまり」 (loppujen [複属] < loppu, lopuksi [変] < loppu) / ehdoton 「無条件の」 < ehto / tätä ei lainkaan 「これはまったく(いら)ない」 / ainoastaan tätä 「これだけを」 / -tyyppinen 「～型の、～タイプの」 < tyyppi / lähestyminen 「近づくこと、アプローチ」 動名 < lähestyä < lähi- / tukahduttaa 「窒息させる、抑え込む、消す」 < tukahtua / ehdottomuudessaan 「(自らの)無条件性において、(自らの)絶対性において、(自らが)妥協を許さないことにおいて」 [内]+ 単 3 所接 < ehdottomuus < ehdoton < ehto / vuoro-vaikutusta 「相互作用を、交流を」 [分] < -vaikutus < vaikuttaa / arkisia 「日常的な」 [複分] < arkinen < arki / valintojansa 「(自らの)選択を」 [複分]+ 単 3 所接 < valinta < valita / ohjata 「導く」 / yhä useammin 「さらに多くの場合」 (useammin 比 < usein) / havaita 「気づく、観察する」 / ei näytä lisäävän 「増やすように見えない」 (lisäävän [属] < lisäävä 能現分 < lisätä) [分構] / henkilökohtaisen 「個人的な」 [属] < -kohtainen / tyytyväisyyden 「満足(感)の」 [属] < tyytyväisyys < tyytyväinen < tyytyä / tyytyväisyyttä 「満足(感)を」 [分] < tyytyväisyys / aineettomat 「非物質的な」 [複主] < aineeton < aine / itsestä 「自分自身から」 [出] < itse / ulospäin 「外へ向かって」 / suuntautuminen 「向かうこと」 動名 < suuntautua < suunnata < suunta

### ● フィンランド語理解のための訳例

そのような人は|おそらく|止まる|尋ねようと、|何を|結局のところ|必要とされる|より多く|そして|何を|より少なく、|なぜなら|無条件の|「これはちっともいらない」|そして|「ただこれだけを」|といったタイプの|近づくことは|抑え込む|(自らの)無条件性において|人間の|間の|相互作用を。人の|日常の|選択を|導く|さらに|より多くの場合|本当の|必要性が、|なぜなら|その人は|気づいている、|<次の>[ことに|品物の|量は|見えない|増やすように|人間の|個人的な|幸福感の、|満足感の|あるいは|健康の|量を。その|代わりに|満足感を|生み出す|非物質的な|物事が|<次の>[ような|自分自身から|外へ向けて|向かうこと]。

### ◎ 意識

<生態社会的に成熟した>人はおそらく、結局のところ何がもっと必要で、何がもっと必要でないのか立ち止まって尋ねるだろう。なぜなら、「これは少しもいらない」とか「ただこれだけ」といったタイ

プの妥協を許さない考え方は、それが妥協を許さないということにおいて人間同士の関わり合いというものを阻害してしまうからだ。本当に必要なのかどうかということが、さらに多くの場合に人の日常の選択を導くことになる。なぜなら、品物の量が人の個人的な幸福感や満足感、あるいは健康の度合いを高めるようには思えないということに、そういう人は気づいているからである。それに対して満足感を生み出すのは、自らの中から外へ飛び出そうとする外向きの姿勢といった非物質的な事柄なのである。

### ★補足

【20】や【21】で主張されている内容と合致すると思われるフィンランドのデザイナーに Kaj Franck (1911-1989) がいます。Franck については『フィンランド語の世界を読む』15 課の中のテキスト 1、2、3 でも扱いましたので参照してください。彼は食器などのデザインで知られていますが、とくに Kilta シリーズ、Teema シリーズ、Kartio シリーズなどが有名です。

### 【22】Kaj Franck の作品が漂わせる価値観は今こそ重要かもしれない

Mutta Kaj Franck on ajankohtainen aivan toisenlaisistakin syistä. Salaisuus piilee estetiikan lisäksi hänen tinkimättömyydessään ja vahvassa ideologiassaan. Kasvava ympäristötietoisuus on avannut uuden näkökulman Kaj Franckin muotoilulle. Hänen funktionaaliset esineensä supistavat nykyihmistä tuskastuttavaa tavarapaljoutta. Niiden avulla pärjäämme vähemmällä.

Esineet henkivät ajankohtaista arvomaailmaa, jossa kohtuus, ekologia ja tasa-arvo ovat keskeisiä. Siihen sopivat myös ajankohtaiset globaalit vaihtoehdot downshifting ja degrowth.

### ■ 語句・文法

Kaj Franck (1911-1989) はフィンランドを代表するデザイナーですが、『フィンランド語の世界を読む』の 15 課でも取り上げました。/ ajan-kohtainen 「現在話題になっているような、該当の時代の、時事の」/ toisen-laisista-kin syistä 「別の種類の理由からも」 (toisen-laisista-kin [複出] + -kin < toisenlainen、syistä [複出] < syy) / piillä 「隠れる、潜む」/ estetiikan 「美学の、美意識の」 [属] < estetiikka / tinkimättömyydessään 「(自らの) 妥協のなさにおいて」 [内] + 単 3 所接 < tinkimättömyys < tinkimätön 否分 < tinkiä / ideologiassaan 「(自らの) イデオロギーにおいて、信条において」 [内] + 単 3 所接 < ideologia / kasvava 「成長するよう」 能現分 < kasvaa / ympäristö-tietoisuus 「環境くに関する」 認識 / näkö-kulman 「視点を」 [属対] < -kulma / funktionaaliset 「機能主義的な」 [複主] < funktionaalinen / esineensä 「品物は」 [複主] + 単 3 所接 < esine / supistaa 「縮小させる、削減する」 < suppea / tuskastuttavaa 「飽き飽きさせるような、うんざりさせるような」 [分] < tuskastuttava 能現分 < tuskastuttaa < tuskastua < tuska / tavarapaljoutta 「モノの多さを」 [分] < -paljous < paljo / pärjätä 「(うまく) やっていく」 / vähemmällä 「より少ないもので」 [接] < vähempi 比 < vähä / henkiä 「発散させる」 < henki / arvo-maa-ilmaa 「価値観を、価値体系を」 [分] < -ilma / kohtuus 「妥当であること、ほどほどであること」 (資料 IV-8 と 9 で

見たように、この語は日本語の「脱成長」に相当するものとしても使われます) / globaalit vaihto-ehdot「地球規模の選択肢、グローバルな選択肢」[複主] < globaali vaihto-ehto / downshifting とは「ギアを下げる、生活を切り詰めること」を意味しますが、労働時間を減らしたり消費を控えることで生活の質を上げようとするような考え方です。 / degrowth「脱成長」については資料IV-8と9を参照してください。

### ●フィンランド語理解のための訳例

しかし|kaj Franck は|現在話題となる|まったく|別の種類の|理由からも。秘密は|隠れる|美意識の|加えて|彼の|妥協のなさの中に|そして|強い|信条の中に。成長する|環境認識は|開いた|新しい|視点を|Kaj Franck の|デザインへ。彼の|機能主義的な|品々は|削減する|現代人を|うんざりさせるような|モノの多さを。それらの|助けにより|我々はやっつけられる|より少ないものにより。

品々は|発散させる|その時代の|価値観を、|そこでは|妥当性が、|エコロジーが|そして|平等が|中心的である。それへ|適する|また|現在話題となっているような|全地球的な|選択肢|減速(ダウンシフティング)|そして|脱成長(degrowth)。

### ◎意訳

しかし Kaj Franck はまったく異なる種類の理由から現在でも話題にできるだろう。その秘密は〈彼の〉美意識に加えて、彼の妥協を許さない姿勢や強い信念の中にひそんでいる。環境に対する認識が深まるにつれ、彼のデザインには新しい視点が開けることになった。彼の機能主義的な作品は、現代の人間をうんざりさせるモノの多さを削減してくれる。これによって、我々はより少ないもので暮らしていけるのである。

〈Kaj Franck の〉作品は、妥当性、エコロジー、そして平等が中心となるような時代の価値観を反映している。それにはまた、現時点で話題になっているような地球規模の選択肢である「減速(downshifting)」や「脱成長(degrowth)」といった考え方も合致するだろう。

### ★補足

【22】によれば、デザインについても「脱成長」といった視点から考えるべきなのでしょう。

### 【23】相続争いを避けたければ選択すべきはイケア!

”Artekin jakkara on taideteollinen teos ja perintökalu. Sen hinnan voi jakaa kahdelle tai kolmelle sukupolvelle”, Relander sanoo. ”Ikean jakkarasta perilliset tuskin tappelevat.”

### ■語句・文法

taide-teollinen「応用美術の」 / perintö-kalu「相続品、家宝」 / hinnan「値段を」 [属対] < hinta / kahdelle tai kolmelle suku-polvelle「二世、あるいは三世へ」 (kahdelle tai kolmelle [向] < kaksi tai kolme) / prilliset「相続人たちは」 [複主] < perillinen < periä / tuskin「ほとんど〜しない、まず〜しない」

### ●フィンランド語理解のための訳例

「Artek の|腰かけは|である|応用美術の|作品|そして|相続品。その|値段を|できる|分ける|二へ|あるいは|三世代へ」、|Relander は|いう。「イケアの|腰かけについて|相続人たちは|まずしない|争う。」

### ◎意訳

「Artek の腰かけは応用美術的作品であり代々受け継がれる品物である。その価格は二世、あるいは三世で分け合うことができるだろう」と Relander はいう。「イケアの腰かけのことで、相続人同士が争うということはまずないだろう。」

### 【24】すべてを知ると座り心地も違ってくるかも？

– Jokaiselle sukupolvelle on pakko kertoa uudestaan aallot ja tapiovaarat ja virkkalat. Tuotteet on tuotteita, mutta niiden takana olevista ihmisistä ja tarinoista pitää saada lisätietoa koko ajan.

Tarinoiden lisäksi jakkarat erottaa toisistaan laatu. Kullbergin mukaan aito Aaltojakkara kestää ”aivan varmasti sata vuotta”.

Toivon että ihmiset äänestävät jaloillaan.

### ■語句・文法

suku-polvelle「世代へ」[向]<-polvi/on pakko「～しなければならない」(+A 不)/uudestaan「あらためて」/aallot「Aalto の作品のことを」[複主対]<aalto/tapio-vaarat「Tapiovaara の作品のことを」[複主対]<-vaara (Ilmari Tapiovaara, 1914-1999, はフィンランドのインテリアデザイナーで、椅子や机などで有名)/virkkalat「Virkkala の作品のことを」[複主対]<virkkala (Tapio Wirkkala, 1915-1985, はフィンランドのデザイナーでガラス食器などがとくに有名)/tuotteet on tuotteita「製品は製品である」(動詞が on という単数形になっているのは, tuotteet「製品」というものを一つのまとまりとしてとらえているからでしょうか。)/olevista「あるような」[複出]<oleva 能現分 <olla/tarinoista「物語について」[複出]<tarina/lisä-tietoa「追加の知識を、追加情報を」[分]<-tieto/koko ajan「たえず」/tosistaan「おたがいから」[複出]+ 複 3 所接 <toinen/Kullbergin mukaan「Kullberg によれば」(Mirkku Kullberg は、この記事が書かれた当時の Artek 社の最高経営責任者です)/äänestää jaloillaan「行動で示す(自分の足で投票する)」(jaloillaan [複接]+ 複 3 所接 <jalka。英語にも”vote with one’s feet”という表現があるようですので、それをフィンランド語に翻訳借用したのかもしれませんが。本来は「どこかへ足を運んだり、あるいは、どこかから立ち去ることで自分の意見を明確に表明する」といった意味なのではないかと思います。)

### ●フィンランド語理解のための訳例

—それぞれの|世代へ|しなければならない|語る|あらためて|Aalto の作品のことを|そして|Tapiovaara の作品のことを|そして|Virkkala の作品のことを。製品は|である|製品、|しかし|それら



の|向こうに|あるような|人々について|そして|物語について|しなければならない|得る|追加情報を|たえず。

物語の|加えて|腰かけを|区別する|おたがいから|質が。Kullberg の|よれば|本物の|Aalto 腰かけは|もちこたえる|「まったく|確実に|百|年」。

私は望む|〈次の〉[ことを|人々が|投票する|自らの脚で]。

## ◎意訳

それぞれの世代へ向けては、Aalto や Tapiovaara、そして Wirkkala の作品についてあらためて語らなければならない。製品というものは製品に過ぎないが、しかしそれらの背後にいる人々や物語についてはつねに新たな知識を得なければならない。

物語に加えて〈Artek とイケアの〉腰かけをおたがいから区別するのが、それらの品質である。〈Artek の最高経営責任者である〉Kullberg によれば、「Aalto 腰かけ」は「まずまちがいなく百年は」使えるだろう。

私は人々が〈どの腰かけを選択するのかという〉行動で示してくれることを望んでいる。

## ★補足

Nykysuomen etymologinen sanakirja『現代フィンランド語・語源辞典』(Kaisa Häkkinen, WSOY, 2004)によれば、jakkara という語は方言の jakku「小さなベンチ／椅子」に語源があるそうです。一方、この jakku の語源について確実な説はないようですが、jalca の幼児語である jalku に起源があるという説が紹介されています。その jalku は「脚のついている家具」といった意味のようです。この説が示すように、jakkara という語の起源に jalca「脚、足」が関係しているのであれば、Kullberg さんが”äänestä jaloillaan”「脚で投票する」と表現していることはなかなか「洒落ている」ことなのかもしれません(ただし、Kullbergさんが語源についてそこまでの知識をおもちかどうか分かりませんが)。

## ※V-1とV-2全体についての補足

資料V-1の冒頭で、「デザイン」という言葉に対応するフィンランド語に muotoilu と suunnittelu の二つがあることに言及しておきました。その二つについて Kielitoimiston sanakirja で調べると、おおよそ次のことがわかります(< <https://www.kielitoimistonsanakirja.fi/#/> )。

### ①muotoilu

muotoilu とは「muotoilla することや、その結果」ということですが、その muotoilla は「形を与えること、形成すること」という意味で、そもそもは muoto「形」という語からできています。

### ②suunnittelu

suunnittelu は「suunnitella」することですが、suunnitella はおおよそ「計画する」という日本語に相当するだろうと思います。たとえば kaupunkisuunnittelu というフィンランド語は「都市計画」とも「都市デザイン」とも訳せそうです。その suunnitella はもとをたどれば suunta「方向」という語に行きつきます。つまり suunnitella は「方向を定める」といった意味合いから発展してきたのかもしれない

ん。

我々が「北欧デザイン」や「北欧らしさ」というものnnい、ただ形や色を求めるのであれば、あるいは最近やたらと使われる言葉を使えば「かわいい」+「コスパ」のみを重視するのであれば、それは muotoilu という観点から語れば十分でしょう。しかし、今回の資料でみたように原材料や製造方法、あるいはデザインの背後にある「思想」といったものまでも考慮したうえで「北欧デザイン」や「北欧らしさ」について語るのであれば、それは suunnittelu という視点から考えるということになるのかもしれない。とはいえ、これらのフィンランド語理解は私が勝手に導き出しているものですので、フィンランド語の母語話者からすればまったく的外れかもしれません（なぜかといえ、そもそもデザイナーと呼ばれる創造的な人々が muoto「形」について考えるという行為自体が、何らかの「思想」を要求するような作業だと思いますので）。

テーマⅢやⅣで「持続可能な発展」や「新しい社会の形」について考えました。その延長線上でデザインと消費といった問題を考えた場合、Artek とイケアのどちらが私にとっての選択肢になるかは、おそらく明らかでしょう。私自身は明確に Artek の方に「北欧デザイン」や「北欧らしさ」を感じ取りたいと思っています。そして、このような問題について判断をするのは、もちろん我々一人一人の責任でもあり、それ以上に権利でもあると思います。そのため、V-1とV-2のタイトルでは偉そうに「北欧デザインとは何なのか」などと書きましたが、最終的には我々一人一人が自らの価値観にもとづいて判断すべき問題だと思います。

最後に一つだけ確認しておきます。今回はとても興味深い新聞記事などが見つかりましたので、資料を作成しました。そして、その資料がたまたま Alvar Aalto や Artek とイケアを比較するものだったというだけです。何もフィンランドの企業や人々の方がスウェーデンの企業や人々よりも「倫理的だ」とか「環境社会的に成熟している」とかいいたいわけではありません。この点については、ぜひ誤解なさらないようお願いいたします。

◆出典

【1】～【15】【23】:

Huolman, Sanna (Juha Salminen, kuvat). ”Jakkarat halki”. *Helsingin Sanomat*. (10.1.2023).  
<<https://www.hs.fi/koti/art-2000008851874.html>>.  
[2024年6月5日最終閲覧]

【24】:

Manninen, Laura. 2014. ”Artek Ikea-jakkarasta: ”Toivon että ihmiset äänestävät jaloillaan””.  
*Iltta=Sanomat* (14.3.2014).  
<<https://www.is.fi/taloussanomat/yrittaja/art-2000001829698.html>>.  
[2024年6月5日最終閲覧]

【16】【17】【19】:

Löytömäki, Simo. 2023. ”Ammattilaiset Ikeassa: Mitä Ikeasta kannattaisi ostaa, mitä ei? HS vei tavarataloon kaksi huonekaluasiantuntijaa. Nyt he kertovat, millaisiin yksityiskohtiin kuluttajan kannattaa kiinnittää huomiota, jos mieli halvalla hyvää”. *Helsingin Sanomat* (8.4.2023).  
<<https://www.hs.fi/koti/art-2000009452974.html>>  
[2024年6月5日最終閲覧]

【18】:

Jalkanen, Tiina. 2012. ”IKEA hakkaa ikimetsiä Karjalassa”. *Luonto-Liiton metsäblogi*.  
<<https://metsablogi.wordpress.com/2012/12/13/ikea-hakkaa-ikimetsia-karjalassa/>>  
[2024年6月5日最終閲覧]

【20】【21】:

Salonen, Arto. 2013. ”Ekososiaalinen sivistys kulttuurin kulmakiveksi”. Toivanen, Paula & Marja Laine. *Kestävä kasvatus – kulttuuria etsimässä, Suomen kulttuuriperintökasvatuksen seuran julkaisuja* 6. Erweko Oy. 40-69. [引用は 59-60 ページより]  
<[https://www.kulttuuriperintokasvatus.fi/wp-content/uploads/2015/04/Kestava\\_kasvatus.pdf](https://www.kulttuuriperintokasvatus.fi/wp-content/uploads/2015/04/Kestava_kasvatus.pdf)>  
[2024年6月5日最終閲覧]

【22】:

Jantunen, Päivi Jantunen. 1999. *Kaj & Franck*. WSOY. [引用は 11 ページより]